

(別紙 2 - 1)

令和5年2月9日

二本松市議会議長 様

会派名 市政会
代表者名 熊田義春 

視察・研修報告書

当会派において、下記により視察（研修）を（に）実施（参加）しましたので報告いたします。

記

- 1 期間 5年2月5日(日)～2月9日(木)
- 2 参加者 ① 熊田義春 ② 安斉政保
③ 小野利美 ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____

3 視察（開催）地及び視察（研修）内容

別紙のとおり

二本松 子育て食堂ハラクチャーと地域・子育て支援センターの開設から現在までの現状聞き取り。



(別紙2-2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 市 政 会
氏 名 熊 田 義 春

- 月 日 5年 2月 5日 (~ 9日)
- 場 所 二本松地域内
- 内 容 こども食堂2カ所の開設状況現在までの現状
聞き取り。
- 視察・研修の感想

それぞれの家庭、子育て世帯の親子、地域の方々の居場所
を作る目的で開設されており、参加者の皆さんの笑顔
が見れ良かった。更に、もう一度子育てとは何かを考えさせ
られた。

- 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

現在市内には2カ所しかこども食堂がありません。
もっと多くの市民の皆さんに参加をし頂くべき情報の周
知をしながら、心のよりどころとなる場所が今後もっと
増やす事が地域活性につながると思います。
これから市の対応が必要不可欠。

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 市政会
氏 名 安齋政保

- 月 日 令和5年 2月5日,7日(～2日)
- 場 所 5日, 二本松子ども食堂ハラフーチー 二本松福祉センター
7日, 認定子ども園まゆみ 施設内(地域)子育てセンター
- 内 容 子ども食堂の実態を知ること。(DEN)

○ 視察・研修の感想

市政会では、貧困対策としての子ども食堂の実態について、市内に、子ども食堂が必要とされる子ども達が多く存在するのがそれほど多いのかについて、説明を受け、また施設を視察して、私達が考えていたものとは、たいが、違っていた。活動においても親、子で料理を作ったり会事を揃えて子どもと向き合う時間を作り、孤食の子どもや地域の方が気軽に利用出来る居場所作りを目的としている。本当に苦しい子供達はなかなか見えてこない。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

このような活動は、素晴らしいし、また、代表者の理念に、大きく左右されるのだと思う。ここに参加出来ない子供達もどうのようにして参加させるためには、どうすれば良いのか。なにも真剣に考えて行くべきである。

子ども食堂を通して、作るのが楽しい、おき、きらいが減った、子ども達を遊ばせる、手伝いをするようになったなど、子供達の成長にかかせない、活動なので、あらゆる部分で支援して行くべきだと思う。親と子を、にわたりと卵にたとえると貧困は子ども、ばかりに目がいきがちだが、親への支援がとてども大切であり、20年～30年の計画を立て見守るべきである。

視察・研修報告書

会派 市政会
氏名 小野利美

○ 月 日 令和5年2月5日(火9日)

○ 場 所 子ども食堂ハラクチ(2/5)、まゆみ子ども食堂(2/9)

○ 内 容 本松市内の子ども食堂2カ所のそれぞれの活動内容等について。

○ 視察・研修の感想

(子ども食堂ハラクチについて)親子が参加し皆さんと一緒に調理して皆さんと一緒に食べる事において、好む嫌味がなくなり、絆・コミュニケーション等ができてとても楽しい事でした。

(まゆみ子ども食堂について)今現在はコロナ禍によって外食での配食と並び、一食子ども無料大人200円との事でした。子育て世代の親子に食事を渡し、子どもと同等の時間を過ごすことも地域の方々に気軽に利用いただき、地域の方々の居場所(等)を目的としている事でした。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

共働き世帯が増え、家事と子育ての両立の大変さ、食事の簡素化また、食事を通しての団らん(等)の難しさ等を切に感じました。運営については助成金がとても大事の事がありました。

子ども食堂への財政支援や子ども食堂の数を増やすことも大事であると考えるので、このような事を市政にしっかりと要望し参ります。